

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成27年4月16日(2015.4.16)

【公開番号】特開2014-48270(P2014-48270A)

【公開日】平成26年3月17日(2014.3.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-014

【出願番号】特願2012-194233(P2012-194233)

【国際特許分類】

G 2 1 K	4/00	(2006.01)
C 0 9 K	11/00	(2006.01)
C 0 9 K	11/06	(2006.01)
G 0 1 T	1/20	(2006.01)
H 0 1 L	31/08	(2006.01)

【F I】

G 2 1 K	4/00	B
C 0 9 K	11/00	E
C 0 9 K	11/06	6 0 1
G 0 1 T	1/20	B
H 0 1 L	31/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月26日(2015.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無機蛍光化合物を含む第1蛍光体と、
蛍光性樹脂を含む第2蛍光体と、を含む
シンチレータ。

【請求項2】

前記第1蛍光体は、前記蛍光性樹脂内に分散していることを特徴とする
請求項1に記載のシンチレータ。

【請求項3】

前記蛍光性樹脂は、
樹脂と、
有機蛍光化合物と、からなることを特徴とする
請求項1又は2に記載のシンチレータ。

【請求項4】

前記第2蛍光体は、波長変換化合物をさらに含む
請求項1から3のいずれか1つに記載のシンチレータ。

【請求項5】

前記蛍光性樹脂は、熱可塑性であることを特徴とする
請求項1から4のいずれか1つに記載のシンチレータ。

【請求項6】

前記第1蛍光体は、第1波長帯域で蛍光し、
前記第2蛍光体は、前記第1波長帯域とは異なる第2波長帯域で蛍光する

請求項 1 から 5 のいずれか 1 つに記載のシンチレータ。

【請求項 7】

シンチレータと、
光電変換部材と、を備え、
前記シンチレータは、
無機蛍光化合物を含む第 1 蛍光体と、
蛍光性樹脂を含む第 2 蛍光体と、を含む
放射線検出装置。

【請求項 8】

前記光電変換部材は、単結晶シリコンを含む
請求項 7 に記載の放射線検出装置。

【請求項 9】

前記光電変換部材は、
前記第 1 蛍光体及び前記第 2 蛍光体の発光波長に感度を持つように構成されている
請求項 7 又は 8 に記載の放射線検出装置。

【請求項 10】

放射線照射部をさらに有する
請求項 7 から 9 のいずれか 1 つに記載の放射線検出装置。

【請求項 11】

無機蛍光化合物を含む第 1 蛍光体と蛍光性樹脂を含む第 2 蛍光体とを混ぜる工程と、
前記第 2 蛍光体を硬化する工程と、を含む
シンチレータの製造方法。

【請求項 12】

前記第 2 蛍光体が熱可塑性樹脂を含む
請求項 11 に記載のシンチレータの製造方法。